

話題の「腸内フローラ検査」を今だけお得に

あなたの腸内フローラ調べてみませんか？

検査費用

22,000円(税込)

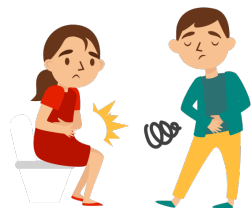
こんな方におすすめの検査です

お腹の症状でお悩みの方や
大腸がんが心配な方

お肌のお悩みや
更年期障害でお悩みの方

忙しくて生活が乱れがちの方

免疫機能を高めたい方



いまならデジタルギフト券「QUOカードPay」プレゼント

2023/6/1~2023/11/30までの期間中に
「腸内フローラ検査」お申し込みいただいた方
※2024/2/29までの検体提出・マイキンソーパーソナル会員登録必須

3,000円分



もらえます！

検査・キャッシュバックの流れ



1 検査キットの受け取り

施設から検査キットをお受け取りください。



2 会員登録

キット内に同封されているQRコードを読み取り、「マイキンソーパーソナル」の会員登録をおこなってください。



3 ポストに投函

採便したキットを同封の返信用封筒に入れポストに投函してください。



4 検査結果の受け取り

郵送で返却される検査結果をお受け取りください。(ポスト投函から4~6週間)



5 QUOカードPayの受け取り

メールで送られてくるQUOカードPayをお受け取りください。(検査結果受け取りから2か月以内発送)

QUOカードPayってなに？

QUOカードpayはアプリ不要ですぐに使えるデジタルギフトです。届いたURLをタップするだけで受け取り完了で、登録なしでそのままお使いいただけます。

[クオ・カードペイが使えるお店を見る→](#)



必ずご確認ください

- ・キャッシュバックの対象は①2023/11/30までの検査お申し込み、②2024/2/29までに検体提出、③2024/2/29までに「マイキンソーパーソナル」の会員登録が完了している方のみとさせていただきます。
- ・どれかひとつでもご対応いただけていない場合はキャッシュバックの対象外となりますので、ご注意ください。
- ・「マイキンソーパーソナル」の会員登録にはメールアドレスが必須となります。
- ・対象施設以外での申込はキャンペーン対象外となります。渋谷コアクリニックはキャンペーンの対象となります。

検査結果レポートイメージ (一部抜粋)

腸内フローラ判定

腸内フローラバランスを5段階で評価します。

疾患別リスク判定

糖尿病、高血圧、大腸がんなどの腸内細菌からみた疾患リスクがわかります。

改善アドバイス

不足している有用菌の増やし方や、要注意菌の改善方法などがわかります。

PART 1 腸内フローラのバランス(概要)について

腸内フローラは、約1000種類以上の腸内細菌から構成されています。まずは、腸内フローラ全体のバランスに関する概要結果を確認しましょう。

腸内フローラ(総合)判定

腸内フローラを構成する菌のバランスをもとに、A-Eの5段階で腸内環境を評価しています。D、E判定の場合は、バランス崩壊(ディスバイオーシス)が疑われるため、積極的な生活習慣の改善が必要です。理想的な腸内環境に近づけるよう、A判定を目指しましょう。

E バランスが悪い判定 (ディスバイオーシスの疑い)

コメント: 有用菌が全体的に少なく、バランスが崩れた腸内フローラです。生活習慣を改善して、3ヶ月~半年後を目安に再検査をおすすめします。

前回: D 前々回: -

腸内細菌の多様性判定

腸内細菌の多様性が高いほど、理想的な腸内環境に近づきやすくなります。腸内細菌の種類が豊富で、各菌がバランス良く存在していると、多様性が高くなります。

多様性スコア: 5.81

コメント: 多様性は平均的です。今より更に多様性を高められるよう、シンバイオティクスを日頃の食事で意識しましょう。

前回: 悪い(4.55) 前々回: -

健康長寿菌判定

健康長寿の人の腸内に多い、「ビフィズス菌(酢酸産生菌)」と「ファーカリカテリウム属(酪酸産生菌)」を十分量保有していたかどうかを判定しています。※各菌の詳細結果はp.4「個別注目菌の割合」を参照してください。

コメント: ビフィズス菌(酢酸産生菌)が不足気味です。p.4の個別注目菌の結果を確認しましょう。

前回: 2種とも豊富 前々回: -

PART 2 腸内フローラの観点からみた疾患リスク

腸内フローラは、全身の様々な疾患と深い関わりがあります。今回の腸内フローラの結果からみた各疾患リスクを確認し、将来の疾患リスクを減らせるよう生活習慣の見直しに繋がります。

疾患別リスク判定

機能性下痢 (IBS)

コメント: 腸内フローラのバランスから見た、機能性下痢(IBS)のリスクは低いと考えられます。引き続きp.5のような生活習慣を継続しましょう。

前回: 低 前々回: -

心血管系ディスバイオーシスコア

高血圧の人に似た腸内フローラの特徴があるため、今後注意が必要です。p.5のアドバイスを参考に、今後生活習慣を改善していきましょう。

前回: 低 前々回: -

カテゴリ	検出項目	腸内割合(%)	結果(割合)	判定(危険)
有害菌	酪酸産生菌	ファーカリカテリウム チチエリスチバシス クロスリジウム	9.24%	8.67%~
	酢酸産生菌	ビフィバクテリウム (ビフィズス菌)	1.17%	2.39%~
	プロピオン酸産生菌	ディアリスター	0.00%	0.03%~
有用菌	エクオール産生菌	アドレククルーティア スプレア	0.87%	0.03%~
	やせ菌	クリステンセラ	0.00%	0.19%~

個別注目菌 (有用菌)

改善ポイントトップ3

p.4の個別注目菌 (有用菌)の結果を改善するために、あなたにとっておすすめの、具体的な改善実践方法やアドバイス上位3項目です。

1 果物の摂取

果物には、腸内細菌のエサになる水溶性食物繊維や糖アルコールが含まれています。特に旬を迎えた果物は、栄養価が高い傾向にあります。1日1品の果物が理想的な習慣です。

この生活習慣で改善できる菌

- アクティブ菌 (ラクソスピラ)
- やせ菌 (クリステンセラ科)
- アクティブ菌 (ロゼリア)
- アクティブ菌 (モノクロバ)

2 運動

適度な運動は、自律神経に良い影響を与え、排便に必要な腸内作りにも繋がります。マイキンソーデータでは、週に60分以上運動している人ほど菌量が安定傾向にあります。

この生活習慣で改善できる菌

- アクティブ菌 (ラクソスピラ)
- アクティブ菌 (ロゼリア)
- 酢酸産生菌 (ビフィズス菌)
- アクティブ菌 (プテリノコッカ)
- アクティブ菌 (モノクロバ)

3 牛乳・チーズの摂取

牛乳やチーズには、腸内細菌のエサとなるオリゴ糖が含まれています。マイキンソーデータでは、牛乳・チーズの摂取頻度が高いほどビフィズス菌の保有率が高い、というデータもあります。

この生活習慣で改善できる菌

- 酢酸産生菌 (ビフィズス菌)
- やせ菌 (クリステンセラ科)
- アクティブ菌 (モノクロバ)

健康長寿菌判定

元気な高齢者の方に多い菌を3段階で判定します。

有用菌/要注意菌の割合

良い動きをしている有用菌や、悪い動きをしている要注意菌の割合がわかります。



こちらのQRコードより腸内フローラ検査の詳細について確認できます。



管理栄養士監修による腸内細菌を良くする為の生活習慣改善アドバイスが検査結果レポート内にありますので、ご自身の生活習慣改善にお役立ていただけます。

マイキンソーパーソナル会員登録の流れ

登録必須

「マイキンソーパーソナル」への無料アカウント登録で、検査サービスのご利用がもっと身近に、手軽になります!

- ✓ 検査結果のWEB閲覧
- ✓ 腸活についての会員限定コンテンツ配信
- ✓ 質問表のWEB回答

1 https://mykinso.com/personal にアクセスし、「無料アカウント登録はこちら」のボタンを押す。
※右のQRコードからもアクセスいただけます。

2 アカウント登録画面にて、検査キットID、メールアドレス等を入力。URLが記載されたメールが送られてくるのでURLをクリックし、登録フォームへ。
※検査キットIDはガイドブック、採便キット、ポリ袋等に記載されています。

3 必要な情報を入力したら登録完了。登録、質問票の入力に進んでください。



お申し込み先



電話 : 03-3498-2111 (代表)
お申込みは、お電話・当日受付でお申し付けください

お問い合わせ先



メール: supportdesk@cykinso.co.jp
電話 : 050-3196-9123 受付時間 10:00~17:00 (土日、祝日、年末年始除く)